

遠州鉄道創立 70 周年記念誌



最近10年史 2004 — 2013



遠州鉄道
創立70周年
記念誌

We are Here.

遠鉄は、いつもここにいます。

太平洋戦争下の1943年11月1日。

静岡県西部地域の交通会社6社が統合して誕生した遠州鉄道。

アメリカの投資銀行の破綻に端を発したリーマンショック、

そして、日本が未曾有の被害を経験した東日本大震災など

歴史に刻まれる激動の出来事を乗り越えて、迎えた70周年。

「変わらない遠州」を見守り、「変わりゆく遠州」を支える

遠鉄グループの想いと実践は、

これからも、いつも、地域の皆さまとともに。



©やなせたかし



ENTETSU

since 1943

口絵	2
目次	4
地域との絆	6
ごあいさつ	16
遠鉄グループの姿	18
地域と遠鉄グループ	20
遠州鉄道70周年記念事業	24

創立より60年のあゆみ

■遠州鉄道株式会社の創立	28
昭和18年(1943)～25年(1950)	
苦難の時代からの出発 奥山線の電化とディーゼル化 終戦前後のバス事業	
■運輸交通事業の充実	30
昭和25年(1950)～35年(1960)	
社内業務、鉄道施設の改善 バス基盤の充実 貸切バス事業の再開 関連会社の誕生	
■躍進の事業展開	32
昭和35年(1960)～39年(1964)	
初の5カ年計画を策定 鉄道基盤強化と奥山線の廃止 急行バスで長距離輸送時代に対応 貸切営業所の増設と観光部の設置 事業多角化の推進	
■高度成長期における連帯経営	34
昭和39年(1964)～48年(1973)	
担当常務制から事業本部制へ 20年ぶりにダイヤを大幅改正 路線バスのワンマン化など合理化推進 初の名古屋進出とバンピツアーの誕生 自動車販売進出やレジャー基地開発も	
■多角化へ活発な事業展開	36
昭和48年(1973)～61年(1986)	
全社一丸でオイルショックを克服 鉄道の高架化が実現 路線バス運行の合理化施策 バンピツアーの躍進 流通、都市ホテルなど多角化の推進	
■総合生活産業を目指して	38
昭和61年(1986)～平成5年(1993)	
「チャレンジ90」を策定 フォルテ建設と遠鉄百貨店の開業 増収対策とETカード発行 バスロケーションシステムの導入 多彩な旅行商品を発売 不動産、ホテル、自動車販売事業も加速 創立50周年記念事業を盛大に実施	
■お客さまに寄り添いつつ専門性を追求	40
平成5年(1993)～15年(2003)	
収益力重視の経営体質への転換 利便性や安全性の向上に励む 注文住宅への進出など事業拡大に邁進 多様なニーズにきめ細かく対応 流通業の躍進 特色ある事業展開を志向	

遠鉄グループ最近10年史

■経営	44
4つの新たな経営方針を明確化 企業活動の質にこだわる「クオリティ 2008」 新「えんてつカード」の誕生 従業員意識調査の実施と社員満足度の向上 「ネクストステージ2011」における「グループ総合力」の追求 顧客資源の共有をもたらした「遠鉄グループ大感謝祭」 浜松駅周辺の活性化を目指す「まちなかにぎわい協議会」 遠鉄百貨店新館の建設 新規事業開発の加速をねらう「バリューアップ2014」 M&A(企業の合併・買収など)による事業拡大 グループ会社の事業再編 内部統制の推進による企業価値の向上	
■運輸事業	52
鉄道部門／乗合バス部門／貸切バス部門／ 整備部門／広告部門	
○鉄道部門(遠州鉄道(株))	53
街の活性化につながる第2期高架化事業の推進 国道152号線の道路改良に伴う小林駅～芝本駅間の高架化 新浜松駅・鉄道営業所のリニューアルオープン 新たな列車・設備で安全性や快適性を向上	
○乗合バス部門(遠州鉄道(株)・浜松観光バス(株))	55
「日々の足」としての役割に加え、新分野にも挑戦 セントレアへの直行バス「e-wing」の開設 高速路線バス事業に参入 バスをもっと身近で便利な存在に感じていただくために 安全運行を担保するためのリスクマネジメントに向けた取組み	
○日本初のバス・電車共通IC乗車カード「ナイスパス」の導入	59
ETカード(磁気式プリペイドカード) ナイスパス(非接触ICカード)の開発・導入 ICカード導入の効果と新たなサービスへの展開	
○貸切バス部門(遠州鉄道(株)・浜松観光バス(株))	61
浜名湖花博で奮闘～300万人以上を会場に輸送～ 「愛・地球博」では多彩なメニュー・プランを提供 おもてなしの心で楽しい旅をお手伝い お客さまに選ばれる貸切バスを目指す	
○整備部門(遠州鉄道(株))	64
遠鉄磐田整備センターの開設で厚みを増した整備力	
○広告部門(遠州鉄道(株))	65
時代のニーズに合わせた広告媒体の在り方を追求	
■旅行業	66
旅行部門	
○旅行部門(遠州鉄道(株)・(株)遠鉄トラベル)	67
バンピツアーの概況 顧客ニーズを捉えたバンピツアー新商品の誕生 総合旅行会社・遠鉄トラベルの取組み 富士山静岡空港の開港に合わせたチャーター便企画商品 新分野「MICE」で成果を挙げる 地域への貢献と創立60周年	
■不動産事業	70
不動産・住宅部門	
○不動産・住宅部門(遠州鉄道(株))	71
近10年における不動産事業本部の概況 仲介業はメディア活用で市況悪化を克服 買取再販業の開始と拡大 安定的な収益を生む賃貸住宅管理業 遠鉄百貨店新館内の公益性が高い施設を管理 住宅プラザの新設と営業エリアの拡大 アフターフォローの充実による顧客満足度の向上 分譲マンション事業は時代の変化に対応 生活の質を高める大規模開発への取組み 新市場の開拓に注力	

■ 保険事業	78
保険部門	
○ 保険部門〈遠鉄鉄道(株)〉	79
近10年の保険事業本部の概況	
営業支援システム導入による営業力強化	
アブラックサービスショップの出店を推進	
コールセンターの開設	
遠鉄グループとの連携強化	
遠鉄グループの保険部門としての役割	
■ 流通業	82
百貨店部門／スーパーマーケット部門	
○ 百貨店部門〈(株)遠鉄百貨店〉	83
UP・ONのオープン	
新ブランド導入による活性化	
お客さま・地域・社員との絆を深めた開店20周年キャンペーン	
「大丸」浜松進出のニュースと遠鉄百貨店の対応策	
リーマンショックにより厳しい経営環境が続く	
新館建設計画の練り直しと新館のオープン	
遠鉄百貨店全館グランドオープン	
新「えんてつカード」と「友の会」という2つの武器	
女性社員の活躍を推進	
楽しい百貨店づくりへの取組み	
○ スーパーマーケット部門〈(株)遠鉄ストア〉	89
地域のお客さまやマーケットの特性に応じた個店主義へ	
新しい戦略業態「フードワン」	
本部移転による現場との一体感創出	
CGCへの加盟	
モチベーションの向上&コミュニケーションの強化	
新たな店舗展開	
店舗間の情報交流を促進する遠鉄ストア版自慢大会	
店舗の業務改善の推進	
地域との共生	
■ 自動車販売業	96
新車・中古車販売部門／カーリース・レンタカー部門	
○ 新車・中古車販売部門〈ネットトヨタ浜松(株)〉	97
競争激化の中、新型ハイブリッド車の販売が好調	
近10年の店舗展開	
人材力や組織力を高める様々な取組み	
○ カーリース・レンタカー部門〈(株)トヨタレンタリース浜松〉	99
リース需要の掘り起こし	
営業エリアの拡大・既存店のリニューアルを推進	
■ 観光事業	100
遊園地・旅館部門／ホテル部門	
○ 遊園地・旅館部門〈遠鉄観光開発(株)〉	101
活況をもたらした浜名湖花博と愛・地球博	
遠鉄ホテルエンバィア全盛期	
転換期を迎えたホテル・旅館業界	
ホテルウェルシーズン浜名湖のオープン	
ホテル九重のリニューアル	
家族のための遊園地に原点回帰する浜名湖パルパル	
贅沢な眺望が魅力のかんざんじ荘	
顧客本位への改善・改革に向けた自主的な活動	
○ ホテル部門〈(株)ホテルコンコルド浜松〉	105
近10年における経営環境の変化	
時代とお客さまのニーズに合わせた施設リニューアル	
お客さま・地域の皆さま・従業員との絆を求めて	
女子会「L」の結成	
「出世城」シリーズの新商品開発	
グループ各社と連携した様々な取組み	

■ タクシー事業	108
タクシー部門	
○ タクシー部門〈遠鉄タクシー(株)〉	109
お客さまからの信頼の証し「無線配車シェア50%」	
組織や拠点の変遷	
新たな事業展開で厳しい経営環境に立ち向かう	
介護や環境面にも注力	
○ タクシー部門〈遠鉄交通(株)〉	111
遠鉄グループの一員として顧客満足の向上に邁進	
タクシー2社のさらなる業務連携の推進	
■ 各種事業	112
自動車学校部門／石油販売部門／情報サービス部門／建設部門／車両運行管理請負部門・人材派遣部門・ビル管理部門・マンション管理部門／スポーツクラブ部門	
○ 自動車学校部門〈(株)遠鉄自動車学校・(株)浜松自動車学校〉	113
浜松自動車学校が加わり2社5校体制に	
二輪免許の指定校認定で入校生増加	
快適さを増した施設が教習生に人気を博す	
○ 石油販売部門〈遠鉄石油(株)〉	114
近10年の経営環境の変化	
SS店舗のスクラップ・アンド・ビルドを推進	
次代を担う新事業に着手	
○ 情報サービス部門〈遠鉄システムサービス(株)〉	115
遠鉄グループのIT分野をけん引	
トータルサポートサービスを強化	
企業の質を高める取組みを積極的に推進	
○ 建設部門〈遠鉄建設(株)〉	117
中堅建設企業に成長	
新規事業にも挑戦	
○ 車両運行管理請負部門・人材派遣部門・ビル管理部門・マンション管理部門〈遠鉄アシスト(株)〉	118
4つの事業でサービスを提供	
指定管理事業などを新たな柱に、さらなる成長を目指す	
○ スポーツクラブ部門〈遠鉄スポーツクラブ・エスポ〉	119
設備の充実と新たな取組みを開始	
■ 新規事業	120
介護事業部門／サービスエリア物品販売部門／食品検査部門／その他の部門	
○ 介護事業部門〈遠鉄の介護サービス「ラクラス」	121
“心ゆたかに楽しく暮らす”	
第1号施設「ラクラス上島」オープン	
積極的な拠点展開を実施	
○ サービスエリア物品販売部門〈遠鉄マルシェ店〉	123
遠鉄マルシェ店オープンまでの経緯	
独自のブランド&商品をPR	
○ 食品検査部門〈食品検査センター〉	124
グループのリスク管理に端を発する食品検査事業	
○ その他の部門〈浜名湖ガーデンパーク〉	125
静岡県から管理・運営業務を受託	

資料編	126
年表	152
あとがき	167

■凡例 1. 本史の記述は当社が創立70周年を迎える平成25年11月1日までを原則とし、事柄に応じて、それ以降についても記述した。
2. 人名については、歴史的記述の通例に従い、原則として敬称を省略した。
3. 引用文は、読みやすさを考慮して、旧漢字を常用漢字に置き換えた。



拝啓 思いやりを乗せて走る 運転手さんへ

桜も散り始めた4月初旬。

午前8時過ぎの浜松行きのバスでのことでした。

車内は二人掛けシートに一人ずつ座っている程度の混み具合でした。

そのバスに、ある停留所から一人の母親が赤ちゃんをおんぶし、
2歳ぐらいの幼児の手を引いて乗車してきました。

運転手さんはその様子を見て、車内の人たちに向かって呼びかけました。

「どなたか、お母さんとお子さんが並んで腰掛けられるように、
お席をお譲りいただけませんか。

思いやりの心でぜひお願いいたします」

この声に、一人の乗客が席を譲り、

母親と子どもは並んで座ることができました。

「思いやり、誠にありがとうございます」と応えた運転手さん。

車内は運転手さんと乗客の配慮により、とても良い雰囲気になりました。

私はこのような温かな呼びかけと、乗客の素早い行動に感心しきり。

ところが、まだその続きがあったのです。

席を譲った乗客がバスを降りようとした時、運転手さんはその顔を覚えていて
「先ほどは思いやりのお心、誠にありがとうございました」と言ったのです。

この言葉はなかなか出るものではありません。

私は全国各地のバスに乗ってきましたが、今までにない体験です。

この運転手さんは普段から、

「おはようございます」、「お気をつけてどうぞ」など

普通の運転手さんにはない素晴らしい応対をされています。

このような方のバスに乗ると気持ちがよく、一日が楽しくなります。

本当に、ありがとうございました。

敬具

バス一利用者より



We are Here.



お客さまからのおたより



心に結ばれた、赤いリボン。

それは紳士服売り場でのこと。

ちょうどその時期は、父の日のプレゼントセールの中で、

それにふさわしい商品展示や垂れ幕が印象的でした。

少し場違いな気持ちになりましたが、ネクタイや財布などを見ながら
ベルト売り場に足を止めました。

よそ行きの服に合うベルトが欲しくて、あれこれ手にとっていた私に
女性販売員が「ベルトをお探しですか」と話しかけてくれました。

「いいベルトがないかと思って探しているんです」と私。

店内の雰囲気を感じて

「二人の子どもは学生だから、プレゼントをもらう見込みはないので、
自分で買おうと思って…」と続けました。

いくつか見せてもらい、その内の一本に決めました。

「これをお願いします」とベルトを渡し、金額を確かめて精算しました。

包装して持ってきてくれるのを待っていると、その女性販売員は
「赤いリボンは私からのプレゼントです」と言って差し出してくれました。

一瞬、受け取る手が止まってしまったように思います。

彼女の顔が少し赤みをさしているようにも感じました。

買い物袋の中にそっと収まっている、きれいにデコレーションされたベルト。

彼女のウイットに富んだ言葉が、とてもうれしかった。

東京で暮らしている子どもたちのことと重ねて、

赤いリボンがくずれないように、時々中を覗きながら家路に急ぎました。

今でもこのベルトは、特別な時にしか使いません。

着けていると不思議に心地よさを感じると同時に、

この一本のベルトがモノの価値観を語りかけてくれるように思います。

販売のノウハウは、私は知りません。

客の要望のないリボンは規則違反かもしれません。

しかし、販売に関わるやりとりの中に、

人の心をつかむ値打ちがあることを、あらためて知ることができました。

この出来事は、いつまでも私の心に生き続けていくと思います。



We are Here.



We are Here.



も	人
の	と
が	人
た	と
り	の
。	

マニュアルにはない、 心のおもてなし。

そのお客さまは月に一度、
仕事でホテルウェルシーズン浜名湖に宿泊される方でした。
ホテルのスタッフとも顔見知りです。
そんなお客さまがある日、
目にいっぱい涙をためてホテルウェルシーズン浜名湖に来られました。
気心の知れたスタッフが涙の訳をお聞きすると、
その前日が最愛の息子さまの告別式だったとのこと。
「キャンセルするつもりだったけど、
どうしてもはずせない仕事があつて・・・」
スタッフたちもお客さまを襲った悲しい出来事に、
驚きを隠せませんでした。

翌朝、そのお客さまが朝食にお見えになりました。
スタッフがお席にご案内すると、
そこには緑茶やコーヒー、お手拭き、箸などが
2人分セットされていました。
「もしかして、これは息子の分？」
お客さまは涙を流しながら何度も「ありがとう」と繰り返されました。
スタッフも、ともに泣きました。

後日、お客さまからお手紙が届きました。
「あの日、もしキャンセルしていたら自宅であんなにひとり、
泣き通していたでしょう。
ホテルでは行くところ、寄るところで、
たくさんのスタッフに励まされ、一緒に泣いていただきました。
この次は元気な姿で、宿泊したいです」

お客さまのお気持ちに寄り添う、マニュアルを超えた心のおもてなし。
それはスタッフ一人ひとりの胸にしっかり宿っています。

We are Here.



も	人
の	と
が	人
た	と
り	の
。	

その一棟一棟が 信頼を築いた証し。

駄菓子とタバコを売る店が一角にある古い家屋。

その家には店を営むおばあちゃんとその娘さん夫婦、

そして娘さん夫婦の子どもさん方が住んでいました。

「お母さんも年のせいか、お店をやるのがしんどそうね。

家も古くなってきたし、この際、建て替えようか」

娘さん夫婦は、遠鉄ホームに家の建替えを依頼しました。

しかし、契約が済み、建替えが現実的になるにつれ

おばあちゃんと家族のみんなには、気がかりなことがありました。

それは「お店がなくなることで、おばあちゃんが大切にしている近所の人とのコミュニケーションの場まで失ってしまうのでは」という不安でした。

「自分に何かできることはないだろうか」

そう考えた遠鉄ホームの営業マンは、おばあちゃんと家族に会いに行きました。

みんなの話にじっくりと耳を傾け、不安な気持ちを一つずつ取り除き、

心を解きほぐしていく。ハウスメーカーの営業マンという立場を超え、

時には数時間かけて話し込むこともありました。

契約締結から着工に至るまで、8カ月もの月日が過ぎました。

工事は順調に進み、新しい家のお引渡し当日。

娘さん夫婦が営業マンに言いました。

「じっくりと時間をかけて話をしてくれたおかげで、

家族全員が納得のいく家に建て替えることができました。

近所の人とコミュニケーションが取りやすいように、

おばあちゃんの部屋を表通りに面した位置に配置した間取りの提案…。

あの話を聞いたとき、おばあちゃんは本当にうれしそうでした。

絶対信頼できる、そう思えた遠鉄さんに頼んで良かったです」

地域に根差す、人と人との触れあいのある家。

その一棟一棟が、お客さまと信頼を築いた証しなのです。

We are Here.



も	人
の	と
が	人
た	と
り	の
。	

家族の絆を、笑顔で支える。

80代半ばのお母さんと50代の娘さんの二人家族。

娘さんは日中、仕事で家に居ないため、

一人になるお母さんのことが心配でなりませんでした。

しかし、お母さんは

「少しぐらい体が不自由でも住みなれたこの家で生活したい」が口癖。

お母さんのそんな希望をかなえてあげたいと

娘さんも一人で頑張っていました。

ある日のこと、お母さんが自宅で転倒し、ケガを負ってしまいました。

娘さんが仕事で介護できないため、

やむを得ず介護施設を利用することを検討しました。

「自分が仕事を休んでも、自宅で介護するべきなのでは…」

娘さんは、施設の力を借りることに相当悩みながらも、

お母さんに「ラクラス」のショートステイを

利用してもらうことにしました。

それから1年後、今度は娘さんが体調を崩してしまいました。

ベッドから起き上がることもできない娘さんを見て、

お母さんが言いました。

「私は1カ月ぐらいショートステイに行ってもいいよ。

『ラクラス』なら家みたいなもんだから」

後に娘さんが「ラクラス」のスタッフに話してくれました。

「あの時の母の言葉がどれほどうれしかったことか。

以前に母がショートステイでお世話になったときに、

スタッフさんから、まるで自分の家にいるような気配りと

行き届いたケアをしてもらえたおかげです」

お互いを気遣いながら、二人で寄り添うように暮らす家族。

「ラクラス」のスタッフは、そんな家族の絆を、今日も笑顔で支えています。



ごあいさつ

当社は、昭和18年11月1日に創立し、本年で70周年を迎えることができました。これは、ひとえにお客さま、株主の皆さまならびに関係各位のご支援や社員の協力の賜物であり、ここに厚くお礼申し上げる次第でございます。

創立70周年を記念いたしまして発刊する「遠鉄グループ最近10年史」は、平成16～25年（2004～2013）の10年間における遠鉄グループの事業活動を取りまとめたものであります。

この10年を振り返りますと、リーマンショックや東日本大震災による日本経済の低迷やグローバル化の急速な進展、ネットビジネスなどの進展による商習慣の変革、さらには少子高齢化と人口減少などが背景となり、世の中がすさまじい勢いで変化を遂げた時代でありました。

このような激変する経営環境の中、当社グループは「グループ経営」「グループ総合力の強化」を経営の中心的な考え方として事業展開を進め、グループ共通でポイントが貯まる「えんてつカード」の発行や館山寺温泉のホテルウェルシーズン浜名湖、遠鉄百貨店新館のオープン、鉄道線の高架化などを実現するとともに、新規事業の展開、既存事業のシェアアップ、事業エリアの拡大にも挑戦し、経営基盤のさらなる強化に努めてまいりました。

また、『この地に遠鉄グループがあって本当に良かった』と地域の皆さまからも、社員からも感じていただける企業集団であり続けたいという思いから、巻頭特集では遠鉄グループに寄せられたお客さまのお言葉を掲載いたしました。

本誌が、遠鉄グループをご理解いただく一助となれば幸いに存じます。

今後も「地域とともに歩む総合生活産業」として、これまで以上に地域の皆さまから喜ばれ、信頼される存在となるよう全社員一丸となって取り組んでまいります。

何卒、ご高覧を賜り一層のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。発刊のごあいさつとさせていただきます。

平成 25 年 11 月

取締役会長 竹内 善一郎

取締役社長 斉 藤 薫

遠鉄グループは 地域とともに歩む総合生活産業 多彩な顔を持っています。



運輸事業 ● 乗合バス部門 ● 鉄道部門 ● 貸切バス部門 ● 整備部門



旅行業 ● バンビツアー ● 遠鉄トラベル



不動産事業 ● 不動産事業本部



観光事業 ● 浜名湖かんざんじ荘 ● 浜名湖バルバル ● ホテル九重 ● ホテルウェルシーズン浜名湖



● ホテルコンコルド浜松



タクシー事業 ● 遠鉄タクシー ● 遠鉄交通

として、



保険事業 ● 保険事業本部



流通業 ● 遠鉄百貨店 ● 遠鉄ストア



自動車販売業 ● ネットトヨタ浜松 ● トヨタレンタリース浜松



各種事業 ● 浜松自動車学校 ● 遠鉄システムサービス ● 遠鉄アシスト
● 遠鉄自動車学校 ● 遠鉄石油 ● 遠鉄建設 ● 遠鉄スポーツクラブ・エスポ



新規事業 ● 介護事業
「ラクラス」 ● SA物品販売
「遠鉄マルシェ店」

ここに広がるのは、最近10年の歩みの結晶です。



- 1 H18.9.29 「e-wing」磐田IC駐車場に待合室を整備
- 2 H18.9.29 「e-wing」掛川IC駐車場に待合室を整備
- 3 H19.1.9 「遠鉄磐田整備センター」
- 4 H24.7.1 遠鉄高速バス「e-LineR」浜松インター駐車場開設
- 5 H17.10.23 遠鉄トラベル「イオン浜松西店」
- 6 H18.6.8 遠鉄トラベル「掛川中央店」
- 7 H23.10.1 遠鉄トラベル「観光プラザ」移転
- 8 H23.10.3 遠鉄トラベル「天王店」
- 9 H25.10.2 遠鉄トラベル「リプロス笠井店」

- 10 H18.7.21 リプロス笠井店内「アフラックサービスショップ」
- 11 H21.7.17 遠鉄ストアきらりタウン店内「アフラックサービスショップ」
- 12 H21.11.18 遠鉄ストア南浅田店内「アフラックサービスショップ」
- 13 H22.7.1 遠鉄ストア磐田店内「アフラックサービスショップ」
- 14 H22.8.4 遠鉄ストア泉店内「アフラックサービスショップ」
- 15 H23.7.21 遠鉄ストア掛川中央店内「アフラックサービスショップ」
- 16 H23.11.9 遠鉄百貨店新館7階「アフラックサービスショップ」
- 17 H25.3.27 遠鉄ストア菊川店内「アフラックサービスショップ」
- 18 H25.9.2 静岡駅南に「アフラックサービスショップ」移転

静岡県西部を中心に、地域と70年の信頼を築いてきた遠鉄グループ。
グループ総合力を最大限に発揮しながら、そのフィールドは、いま、新たな領域へと広がっています。

平成16～25年までの10年間における
主な新規オープン施設や事業内容



- 19 H25.9.11 遠鉄ストア西ヶ崎店内「アフラックサービスショップ」
- 20 H19.4.1 「浜名湖かんざんじ荘」営業開始
- 21 H20.6.1 遠鉄タクシー「天竜営業所」を「浜北営業所」として移転
- 22 H18.11.28 トヨタレンタリース浜松「磐田駅前店」
- 23 H19.10.31 トヨタレンタリース浜松「天王店」
- 24 H25.9.26 トヨタレンタリース浜松「雄踏店」
- 25 H16.3.26 遠鉄ストア「立野店」増床
- 26 H16.12.3 遠鉄ストア「桜台店」
- 27 H19.7.21 遠鉄ストア「フードワン鴨江店」

- 28 H24.3.30 遠鉄ストア「フードワン高林店」
- 29 H25.3.27 遠鉄ストア「菊川店」
- 30 H17.2.28 遠鉄石油「新津SS(ドールコーヒーショップ併設)」
- 31 H20.11.20 遠鉄石油 洗車専門店「キーパープロショップ森田店」
- 32 H22.2.26 遠鉄石油「内野SS」(初のプライベートブランド)
- 33 H22.4.1 遠鉄石油「上島SS(ドールコーヒーショップ併設)」
- 34 H23.1.31 「浜岡自動車学校」が遠鉄グループへ
- 35 H24.2.1 介護施設「ラクラス富塚」
- 36 H24.8.1 介護施設「ラクラス中島」
- 37 H24.10.1 介護施設「ラクラス西美園」
- 38 H21.10.1 「遠鉄食品検査センター」

A 鉄道高架開通(助信駅～馬込川付近)



H24.11.24
浜松市中区助信町834-7～
浜松市東区有玉南町1751

B 遠鉄ホーム「浜松住宅プラザ」



H21.7.17
浜松市中区上島
一丁目27-46

C 遠鉄ホーム「掛川住宅プラザ」



H25.4.27
掛川市仁藤7-7

D 「えんてつ菊川ショッピングセンター」
グランドオープン



H25.4.5
菊川市堀之内546-1 他

E 「ホテルウェルシーズン浜名湖」
「華咲の湯」



H21.6.29 浜松市西区籠山寺町1891

F 遠鉄交通が遠鉄グループに加入



H22.6.30
浜松市中区上島
1-11-15
(H25.4.1 本店を上島に移転)

G ネットヨタ浜松「志都呂店」



H17.1.12
浜松市西区志都呂1-40-41

H 遠鉄ストア「フードワン佐鳴台店」
(フードワン第1号店)



H18.8.5
浜松市中区佐鳴台4-16-10

I 遠鉄ストア「フードワンきらりタウン店」



H21.7.17
浜松市浜北区梁地台5-7-28

J 遠鉄ストア「フードワン南浅田店」



H21.11.18
浜松市中区南浅田2-13-1

K 遠鉄ストア「フードワン泉店」



H22.8.4
浜松市中区泉4-12-1

L 遠鉄ストア「三ヶ日店」



H22.10.7
浜松市北区三ヶ日町三ヶ日110

M 遠鉄百貨店「新館」



H23.11.9
浜松市中区旭町12-1

N 新東名高速道路浜松サービスエリアの
ネオパーサ浜松内に「遠鉄マルシェ店」



H24.4.14
上り／浜松市浜北区大平36
下り／浜松市北区都田町7822-7

O 遠鉄自動車学校「磐田校」新校舎



H16.10.28
磐田市見付5015

P 浜松自動車学校が遠鉄グループに加入



H23.1.31
浜松市東区丸塚町1
(H24.11.4 新校舎をオープン)

Q 遠鉄石油
浜松赤松坂SS(セブンイレブン併設)



H23.11.25
浜松市北区東三方町281-3

R 介護施設
「ラクラス上島」



H21.12.1
浜松市中区上島3-37-19

S 介護施設
「ラクラス可睡の杜」



H23.4.1
袋井市可睡の杜51-7

T 介護施設
「ラクラス見付」



H25.4.1
磐田市見付235-10



遠州鉄道70周年記念



研修旅行

画期的なASEAN研修旅行

平成25年9月から26年1月にかけて、急成長しているASEAN各国で、あふれんばかりのエネルギーを体感することで将来の遠鉄グループを担う人材を育成し、さらに結束力を向上させることを目的として企画された「ASEAN研修旅行」。タイ(バンコク)・ベトナム(ハノイ&ホーチミン)・マレーシア(クアラルンプール)&シンガポールの3コースを用意し、グループで総勢約300名が12班に分かれて参加。

40歳未満の参加者は自己負担額を5万円とした。さらに、静岡県西部地域の学生10名をこの研修旅行に招待し、若い世代にアジアの発展を直接感じる機会を設けた。



福利厚生

サンクスクーポンの発行

社員に日ごろの感謝の意をこめて、社員とその家族の健康増進・余暇の充実を図るため、遠鉄グループ各社のサービスが利用できるサンクスクーポンを遠州鉄道の社員(約2,150名)に配布した。また、特別企画としてクーポン記載金額以上のサービスが受けられるスペシャルメニューも用意し、利用を促進した。

事業 ~70年間の感謝の気持ちを込めて~

イベント

将来を担う小学生向けのイベント

記念事業の第1弾として平成25年7月20日から9月1日の間に開催されたのが「はままつ 謎とき大冒険」である。「歴史コース」「音楽コース」「ものづくりコース」の3コースを冒険地図をもとに謎を解いていく小学生向けのゲームで、同時に浜松の歴史や文化を再発見できる要素も取り入れられた。期間中には4,112名が参加し、多くの小学生が浜松のまちなかでの大冒険を楽しんだ。また夏休み期間に合わせて、静岡県西部地域の全小学生約72,000名に「電車・バス1日無料乗車券」配付も行った。



遠州鉄道ならではの“のりもの”イベント「浜松のりものフェスタ」

平成25年11月9日、地域の子どものにりものに親しんでもらうことを目的とし、「浜松のりものフェスタ」と「トレインフェスタ」をソラモと西鹿島の2会場にて同時開催。ソラモ会場では遠鉄グループののりもの（バス・タクシーほか）やパトカー、救急車などの展示・乗車体験を行い、西鹿島会場では電車の運転士・車掌体験などができる「トレインフェスタ」を開催。2会場間を移動する子どもには会場で遠鉄電車の無料券を配付するという取組みも実施。



感謝祭

第5回 遠鉄グループ大感謝祭の開催

平成25年9月7日から23日の17日間にわたり、お客さまへの日ごろの感謝を込めて特別企画やお得なサービスを提供する「第5回 遠鉄グループ大感謝祭」を開催した。遠州鉄道創立70周年・遠鉄ストア創立40周年・遠鉄百貨店開店25周年の節目の年として、浜松市出身の仲道郁代氏によるピアノコンサートへの招待のほか、大抽選会の賞品数も大幅に増やして実施した。



歌

より結束力を高める「グループ歌」の制定

70周年を記念し、「遠鉄グループ歌」が制作された。これまで、グループ内の一部の会社では社歌やイメージソングがあったが、グループ共通での「遠鉄グループ歌」は存在しなかった。遠鉄グループのイメージにあった言葉を歌詞に盛り込み、浜松市出身の有名な若手作曲家、村松崇継氏に作曲を依頼し、グループから募った「遠鉄グループ合唱団」により歌入れがされた。年賀式・入社式などのグループ全体の行事のみならず、様々な場面で歌われていく。



写真中央が村松氏

村松崇継氏プロフィール

昭和53年生まれ、浜松市出身。国立音楽大学作曲学科卒業。作曲家として劇伴と呼ばれる映画・テレビドラマの音楽や舞台・ミュージカルの音楽を数多く手がけ、様々なジャンルのアーティストへ楽曲を提供して音楽プロデューサーとして活動する一方、日本作曲家協会理事も務める若手ピアニストでもある。

活動 & プレゼント

ボランティア清掃の実施

日々お世話になっている地域への恩返しをするため、館山寺地区海岸線の清掃活動を実施、従業員と家族が参加し地域貢献に取り組んだ。

ナイスパス de プレゼントキャンペーン

平成25年12月3日から平成26年1月31日の間、共通IC乗車券「ナイスパス」を活用したプレゼント企画を開催。「ナイスパス」の専用読取機「トッパタッチ」に、当日利用した「ナイスパス」をタッチすると抽選が行われ、総勢5,000名に遠鉄グループ各社の商品をプレゼント。

